文系のための Pythonデータ分析
——最短で基本をマスター

友原章典

担当編集から 話題の Python について学べる入門書がついに有斐閣にも登場！

数式を羅列した統計学の理論，結局どのような場面で使うのかよくわからない Python の文法……世にあふれる「データ分析入門書」には文系初学者のやる気をくじく記述が満載です。そうした記述を大胆にカットし，「とりあえずやってみる」ことに全力でフォーカスしたのが本書。

扱うテーマは，散布図でデータを概観する，無秩序に見えるデータから機械学習で規則性を探る，複数の条件を踏まえた最適解の算出など，実用的なものばかり。

まずは意味はわからなくとも掲載されているコードを手元のパソコンに打ち込んで実行してみましょう。エラーが出てもパソコンが壊れることはありません。疑問に思った箇所は検索エンジンや AI に聞けばいいのです。数値や書き方を変えて，興味の赴くままに動かしてみることで，気づけば抵抗感なく Python を使ってデータ分析ができるようになっているはずです。（AWtnb）

詳細を見る

レベル	用途	対象
初級	学習	学部　一般

2024年10月発売／242頁／定価2310円（税込）
四六判／並製

BOOK INFORMATION

Point Python最大の強みである機械学習もカバー。最新の研究にも使える内容です。

第1章　学ぶための準備をしよう
——本書の特徴とPythonのインストール

第2章　データの基礎的な扱いに慣れよう
——数値データと文字データ

第3章　特徴を踏まえて適切な計画を立てよう——平均とヒストグラム

第4章　データの散らばり方を調べてみよう
——相関係数

第5章　データ同士の関係性を調べてみよう
——回帰分析

第6章　データを特徴に応じて分類しよう
——機械学習によるクラスタリング

第7章　データの規則性を探って将来を予測しよう①
——決定木（ディシジョン・ツリー）

第8章　データの規則性を探って将来を予測しよう②
——ランダム・フォレスト（分類編）

第9章　データの規則性を探って将来を予測しよう③
——ランダム・フォレスト（回帰編）

第10章　施策の効果を調べよう
——傾向スコア・マッチング

第11章　地点間の最短経路を調べよう
——ダイクストラ法

第12章　変化をシミュレーションしてみよう
——SIRモデル

第13章　限られた条件下での最適解を求めよう——線形計画法

第14章　文章の特徴を明らかにしよう
——形態素解析

詳細は，小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。